

【活用にあって】

記事には、「幼鳥」「褐色」「羽毛」「斑点」など難しい言葉がいっぱいです。大人の人は一語一語説明するのではなく、そのまま読みます。その後、もう一度読みます。今度は意味を説明しながらです。子どもから「これって、どういうこと」という質問が出たら最高です。

説明は写真で確認することです。具体的なものと言葉をつなげることが大切です。「斑点」であれば、写真のこの部分のことだよと話します。「ツートンカラー」は「二つの色の組み合わせ」ということを、自動車や電車の車体などで説明します。

解答例

問1：①（アはダイサギ、ウはキビタキです）

問2：「おなかすいたね」「ぼくもだよ」

「いっしょにあそぼうよ」「なにしてあそぶ」

など想像する楽しさを実感したいですね。